

# A5:SQL Mk-2 をインストールし、データベースのインポート、ER 図の作成、テーブル設計書の作成を行う

---

【A5:SQL Mk-2 は】

A5:SQL Mk-2 はさまざまなリレーショナルデータベース管理システムに接続して動かすことができるデータベースツール。

【この資料で行うこと】

1. Access 2010 再頒布可能コンポーネントのダウンロードとインストール
2. A5:SQL Mk-2 のダウンロードとインストール
3. 付属の Microsoft Access サンプルデータベースを開いてみる
4. 既存のデータベースで ER 図の作成
5. 既存のデータベースでテーブル設計書の作成

Access 2010 再頒布可能コンポーネントは、**Microsoft Access 用の 64 ビット版 ODBC ドライバ**が欲しいのでインストールする。「Access 2010」とあるが、Access 2016 でも動くので心配ない。

謝辞：ここで紹介しているソフトウェアの作者に感謝します。

# 1. Access 2010 再頒布可能コンポーネントのダウンロードとインストール

① ウェブページを開く

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=13255>



② ダウンロードしたいので「ダウンロード」をクリック。

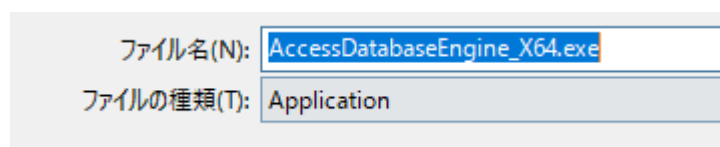
Microsoft Access データベース エンジン 2010 再頒布可能コンポーネント



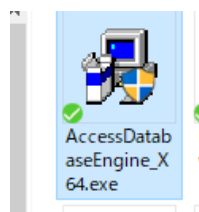
③ 64 ビット版が欲しいので「AccessDatabaseEngine\_X64.exe」をチェックし、「次へ」をクリック。



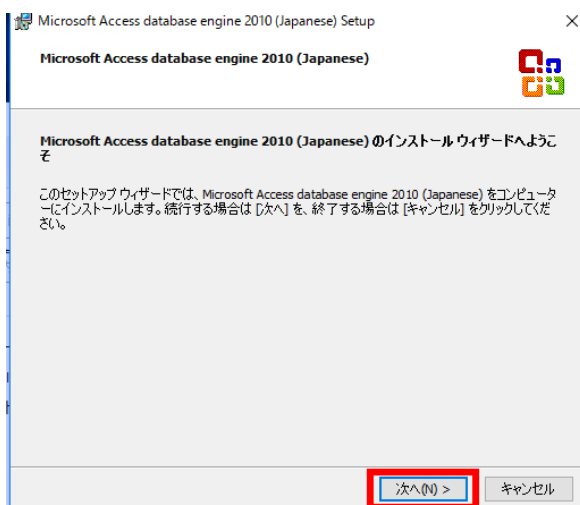
④ .exe ファイルがダウンロードされる。



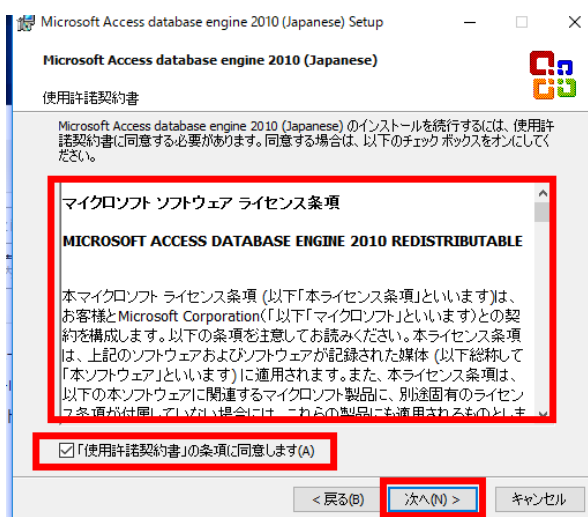
⑤ ダウンロードした .exe ファイルを実行する。



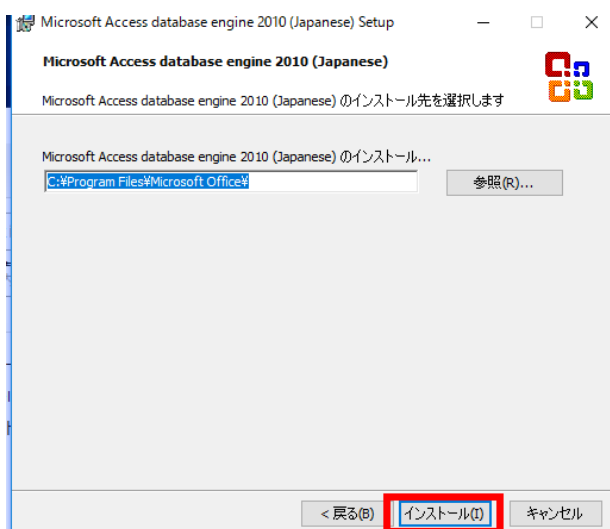
⑥ ようこそ画面では「次へ」をクリック.



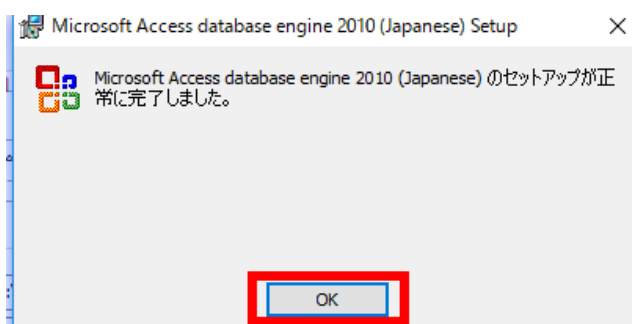
⑦ ライセンス条項の確認.



⑧ インストールディレクトリ (フォルダ) は既定のままでよい。「インストール」をクリック.



⑨ インストール終了の確認。「OK」をクリック。



## 2. A5:SQL Mk-2 のダウンロードとインストール

① A5:SQL Mk-2 のウェブページを開く

<

<http://a5m2.mmatsubara.com>

② 「ダウンロードはこちら」をクリック。



② ダウンロードしたいので、64ビット版のほうの「ダウンロードページへ」をクリック。

### ダウンロード

ソフト名: A5:SQL Mk-2(x86 edition) 2.12.0 (x86)  
ファイル: a5m2\_2.12.0\_x86.zip / 10,520,218Bytes / 2017.04.09



ソフト名: A5:SQL Mk-2(x64 edition) 2.12.0 (x64)  
ファイル: a5m2\_2.12.0\_x64.zip / 12,440,883Bytes / 2017.04.09



③ 「このソフトを今すぐダウンロード」をクリック。

### [A5:SQL Mk-2 2.12.0 \(x64\)](#)

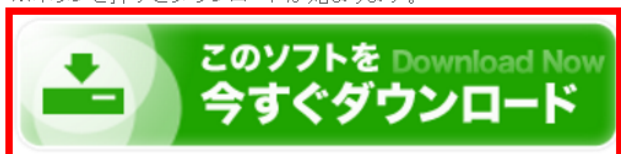
[a5m2\\_2.12.0\\_x64.zip](#)

( Filesize: 12,440,883 )

[ダウンロードがうまくできない場合の解決方法](#)  
 [Google Chrome 等でのダウンロード時の警告について](#)

ダウンロードはこちら

※ボタンを押すとダウンロードが始まります。



④ ダウンロードした .zip ファイルを展開（解凍）

sample	2017/05/02 14:42	ファイル フォルダ	
sampledb	2017/05/02 14:42	ファイル フォルダ	
scripts	2017/05/02 14:42	ファイル フォルダ	
A5M2.ENG	2017/04/09 10:46	ENG ファイル	1,541 KB
A5M2.ENU	2017/04/09 10:46	ENU ファイル	1,541 KB
A5M2.exe	2017/04/09 10:46	アプリケーション	31,729 KB
history.txt	2017/04/08 19:24	テキスト ドキュメント	30 KB
license.txt	2015/03/12 0:32	テキスト ドキュメント	5 KB
license_en.txt	2017/01/08 11:20	テキスト ドキュメント	5 KB
readme.txt	2017/02/26 10:16	テキスト ドキュメント	11 KB
readme_en.txt	2017/02/26 10:28	テキスト ドキュメント	9 KB
VirusCheck.txt	2017/04/09 10:46	テキスト ドキュメント	7 KB

⑤ 展開してできたディレクトリ **a5m2\_2.11.6\_x64** を **C:¥** の直下に移動

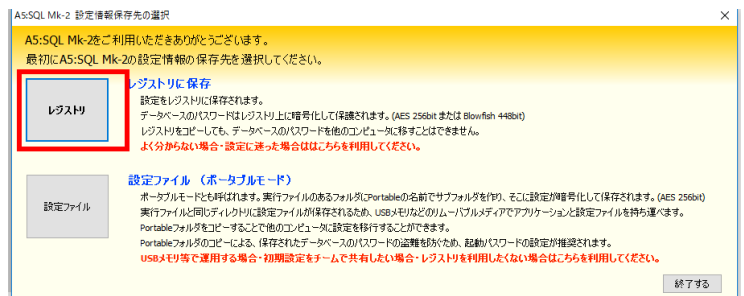
> PC > (C:) ローカル ディスク

名前	更新日時	種類	サ
a5m2_2.11.6_x64	2017/05/02 14:43	ファイル フォルダ	
Program Files (x86)	2017/05/02 14:38	ファイル フォルダ	

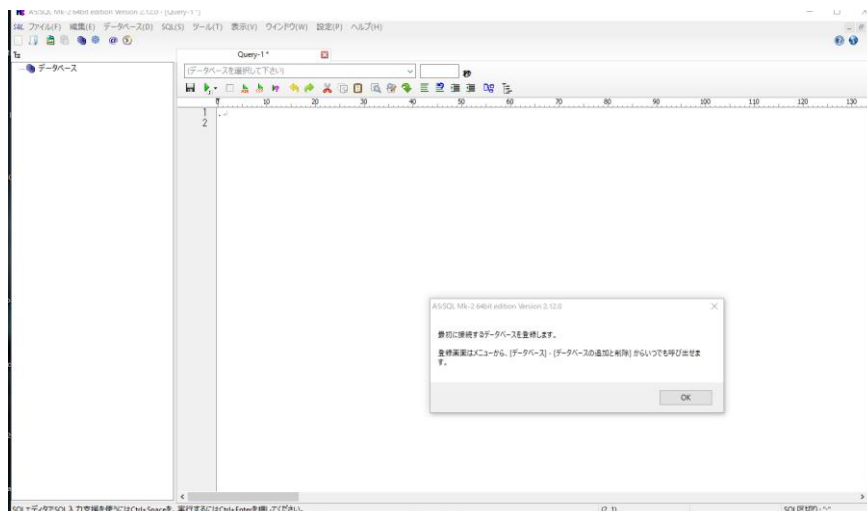
⑥ 確認のため、A5M2.exe を実行してみる

sample	2017/05/02 14:43	ファイル フォルダ	
sampledb	2017/05/02 14:43	ファイル フォルダ	
scripts	2017/05/02 14:43	ファイル フォルダ	
A5M2.ENG	2017/04/09 10:46	ENG ファイル	1,541 KB
A5M2.ENU	2017/04/09 10:46	ENU ファイル	1,541 KB
A5M2.exe	2017/04/09 10:46	アプリケーション	31,729 KB
history.txt	2017/04/08 19:24	テキスト ドキュメント	30 KB
license.txt	2015/03/12 0:32	テキスト ドキュメント	5 KB
license_en.txt	2017/01/08 11:20	テキスト ドキュメント	5 KB
readme.txt	2017/02/26 10:16	テキスト ドキュメント	11 KB
readme_en.txt	2017/02/26 10:28	テキスト ドキュメント	9 KB
VirusCheck.txt	2017/04/09 10:46	テキスト ドキュメント	7 KB

⑦ 初回起動設定、「レジストリ」をクリック。

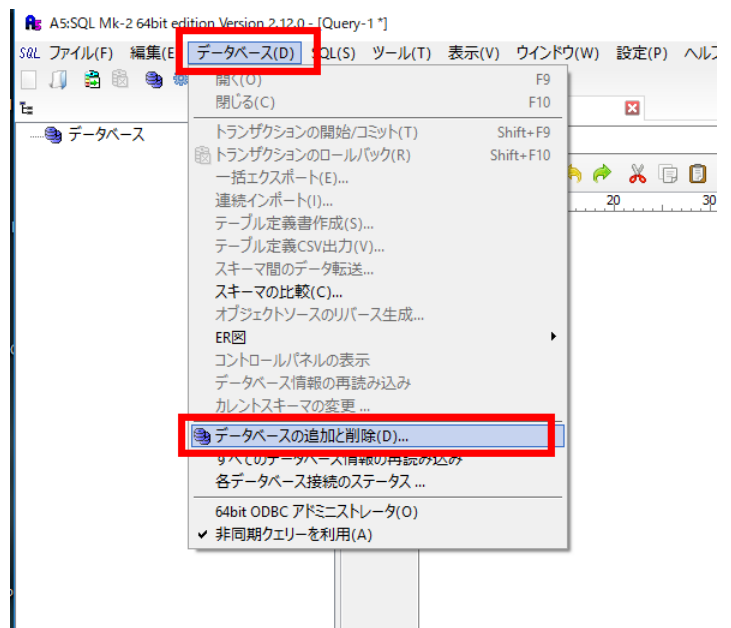


⑧ 新しい画面が開くので確認する。

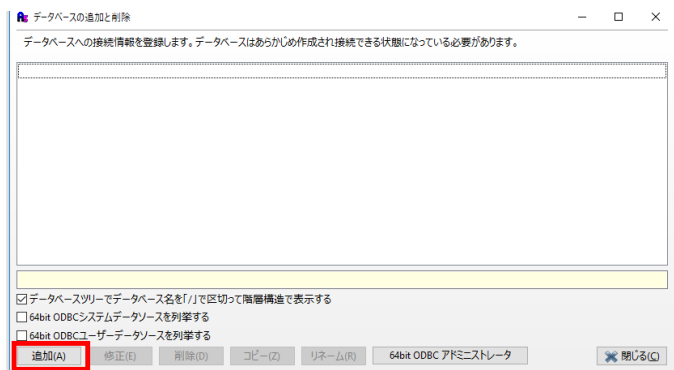


### 3. 付属の Microsoft Access サンプルデータベースを開いてみる。

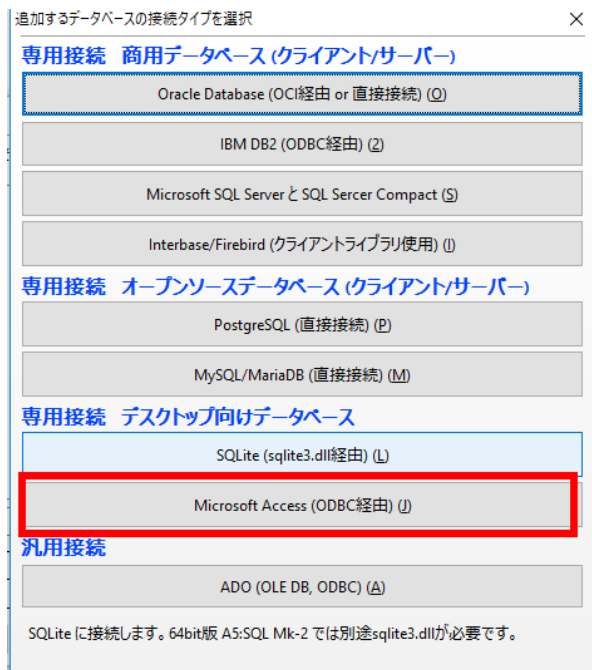
① 「データベース」 → 「データベースの追加と削除」と操作する。



② 「追加」をクリック。

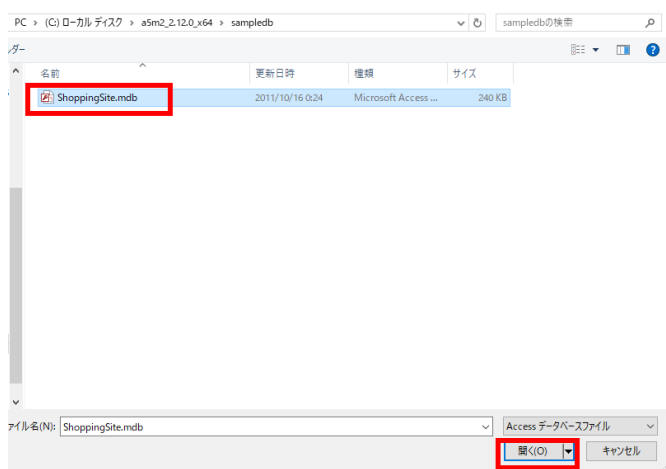
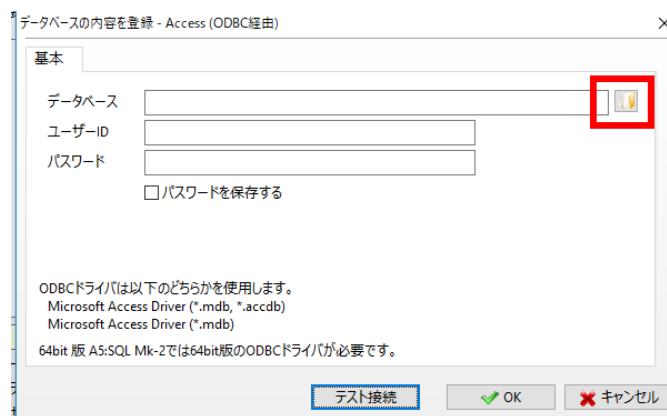


③ 「Microsoft Access (ODBC 経由)」をクリック。

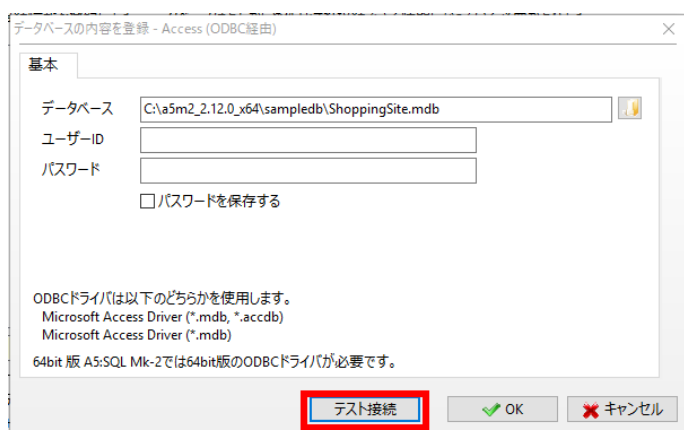


④ サンプルデータベースファイル

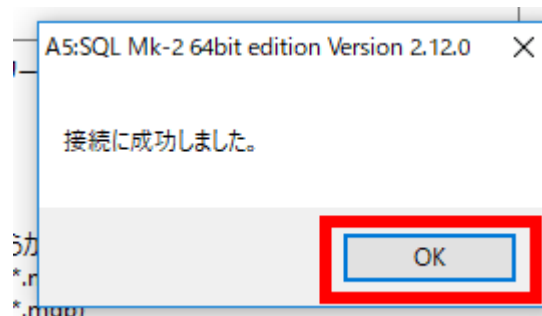
C:\a5m2\_2.11.6\_x64\samledb\ShoppingSite.mdb を選ぶ。



⑤ 「テスト接続」をクリック。

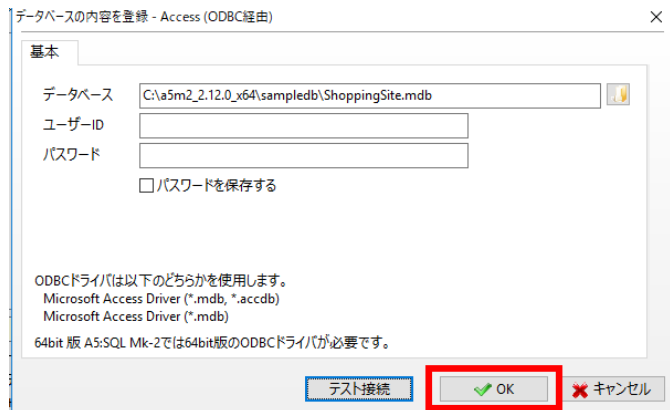


⑥ 「接続に成功しました」と表示されるので確認し、「OK」をクリック。  
※ エラーが出たときは、Access 2010 再頒布可能コンポーネントのインストールがうまく行っていない可能性がある。

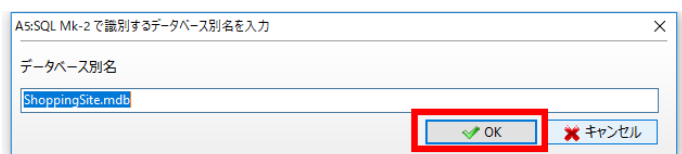




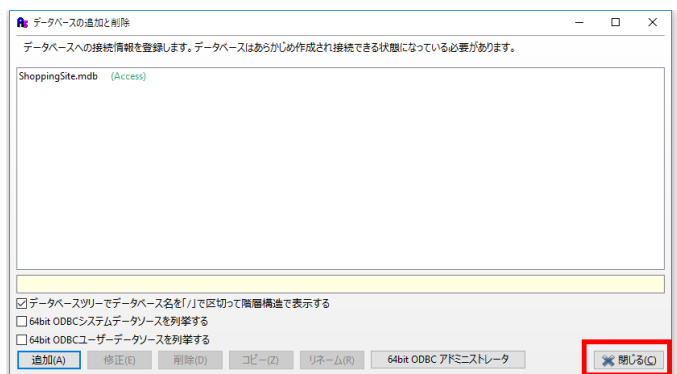
⑩ 「OK」をクリック



⑪ データベース別名は既定（デフォルト）のままでよい。「OK」をクリック。



⑫ 「ShoppingSite.mdb」が追加されたことを確認し、「閉じる」をクリック。



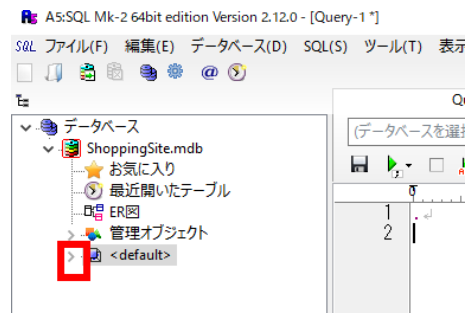
⑬ 確認したいので、「ShoppingSite.mdb」の左横の「>」を展開。



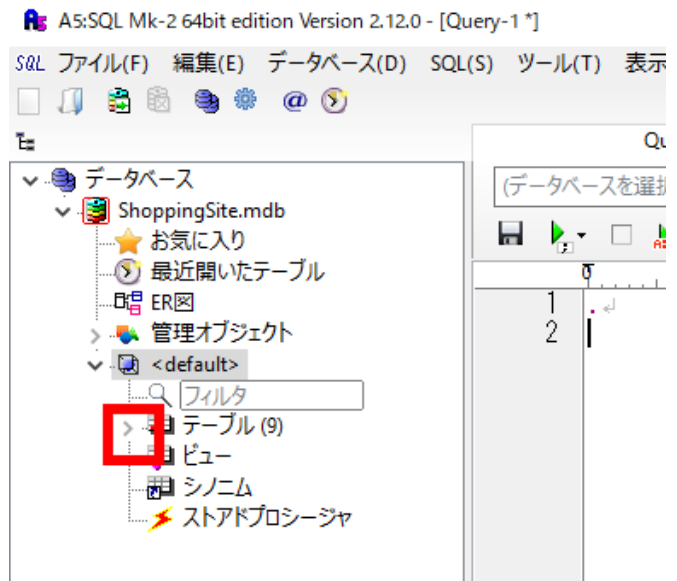
⑭ データベースログインの設定画面では、何も設定しなくてよい。「OK」をクリック。



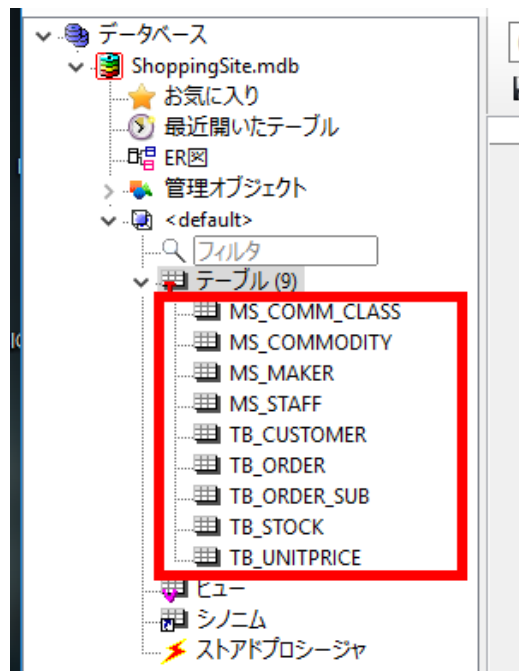
⑮ 「<default>」の左横の「>」を展開.



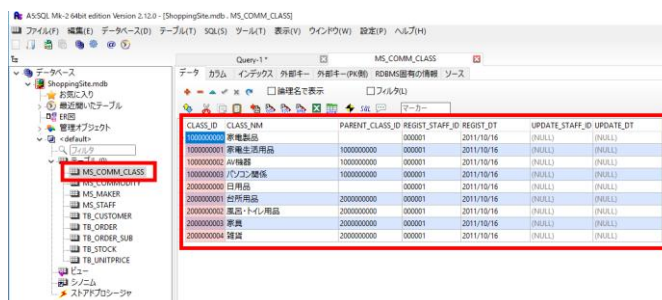
⑯ 「テーブル」の左横の「>」を展開.



⑰ テーブル一覧が表示されるので確認する.

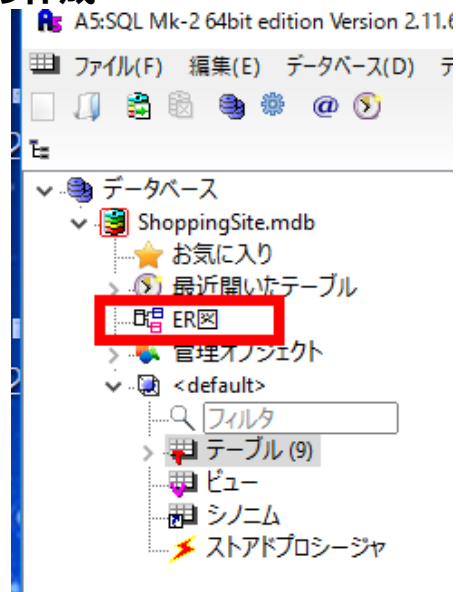


⑱ テーブルを1つ選んでクリックすると、エディタが開く。

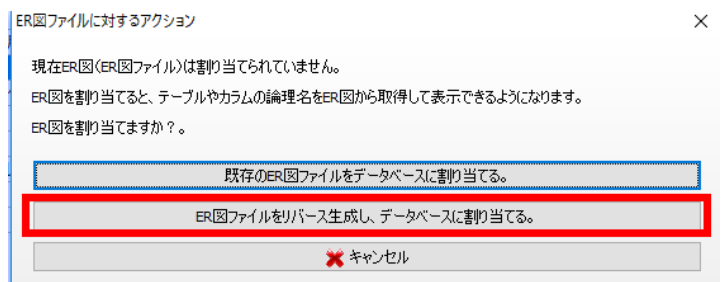


## 4. 既存のデータベースで ER 図の作成

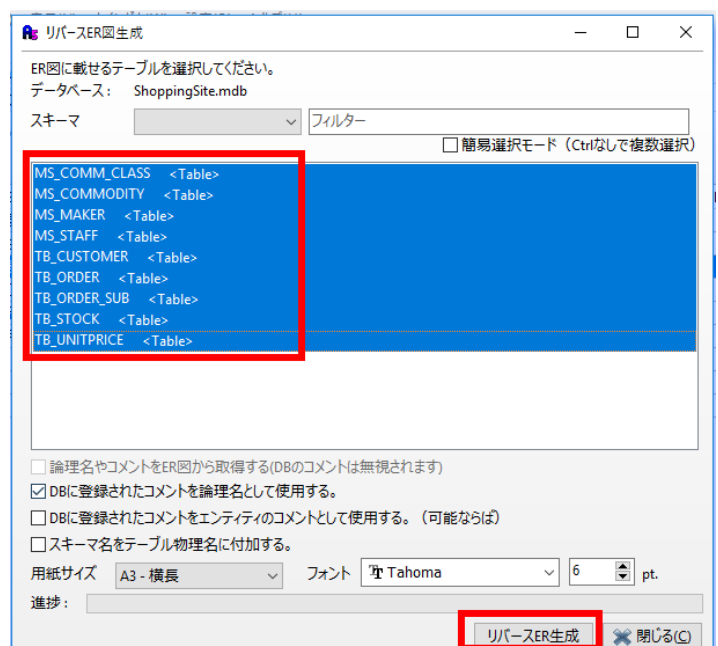
① ER 図を作成したいデータベースの下の「ER 図」をクリック。



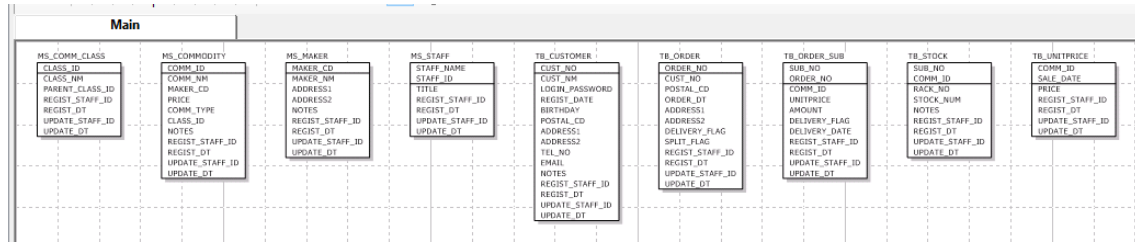
② 既存のデータベースから ER 図を作成したいので「ER 図ファイルをリバース生成し、データベースに割り当てる。」を選ぶ。



③ テーブルをすべて選び、「リバース ER 生成」をクリック。

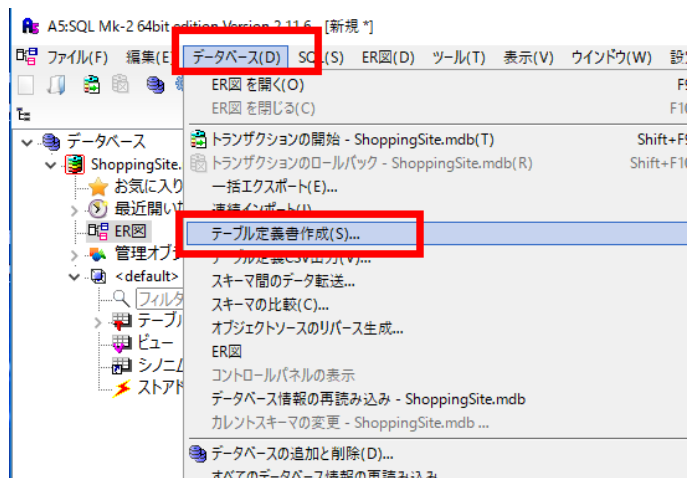


④ ER図が生成されるので確認する。

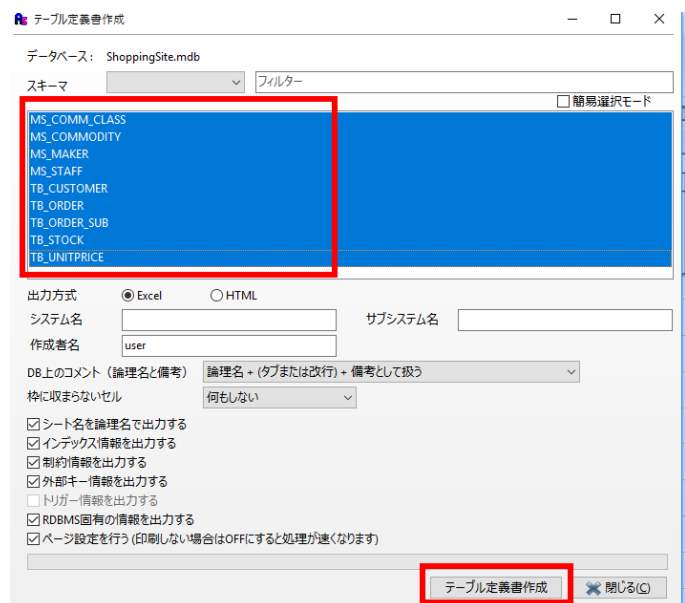


## 5. 既存のデータベースでテーブル設計書の作成

- ① メニューの「データベース」で「テーブル定義書作成」を選ぶ。



- ② テーブルをすべて選び、「テーブル定義書作成」をクリック



③ テーブル定義書の Excel ファイルが生成される。

The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following content:

テーブル情報						
システム名		作成者	user			
サブシステム名		作成日	2016/11/23			
スキーマ名		更新日				
論理テーブル名		RDBMS	ACCESS 04.00.0000			
物理テーブル名	TB_UNITPRICE					
備考						
カラム情報						
No	論理名	物理名	データ型	Not Null	デフォルト	備考
1		SALE_DATE	DATETIME			
2		COMM_ID	VARCHAR(10)			
3		PRICE	INTEGER			
4		REGIST_STAFF_ID	VARCHAR(6)			
5		REGIST_DT	DATETIME			
6		UPDATE_STAFF_ID	VARCHAR(6)			
7		UPDATE_DT	DATETIME			
インデックス情報						
No	インデックス名	カラムリスト	主キー	ユニーク	備考	
1	TB_UNITPRICE_PKC	SALE_DATE,COMM_ID		Yes		
2	TB_UNITPRICE_IX1	COMM_ID				